

Governor's Monthly Letter

To Club Presidents and Secretaries

Rotary International District 2550



2006～2007年度
国際ロータリーのテーマ

率先しよう

RI会長 ウィリアム B. ボイド
ガバナー 落合雅雄



山本有三ふるさと記念館「栃木市万町」

CONTENTS

- p.1 落合ガバナーメッセージ
- p.2 職業奉仕委員長挨拶
- p.3 米山記念奨学会委員長挨拶
- p.4 米山記念奨学会小委員長挨拶
- p.5 インターアクト年次大会報告
- p.6 インターアクト海外研修旅行報告
- p.7 第1回会長・幹事会報告
- p.9 公式訪問だより
- p.11 追悼
- p.12 弔辞
- p.13 ロータリアンの皆さんへ
- p.14 地区大会のご案内
- p.15 新入会員
- p.17 地区主要行事予定・野球大会報告
- p.18 文庫通信／ロータリーの友より
- p.19 2006年8月第2550地区会員増強・出席報告

今月のロータリーレート
1\$=114円

2006.10
No.4

10月：職業奉仕月間・米山月間

国際ロータリー第2550地区ガバナー事務所



〒328-0042 栃木県栃木市沼和田町12-15 平和ハイツ2F
TEL 0282-20-2020 FAX 0282-20-2025
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp



職業奉仕と、R米山記念奨学事業と、

国際ロータリー第2550地区
2006～2007年度ガバナー

落合雅雄
(栃木西RC)

かつてゴルバチョフ書記長は、「世界で最も成功した社会主義国家は日本である」といったが、共産主義が理想として掲げていた平等社会を資本主義的体制下の日本が実現したわけです。つまり資本主義が社会主義よりはるかに優れたシステムであることが証明され、未曾有の物的な豊かさが大量消費時代を創り出して、70年代から80年代にかけての高度成長時代をもたらし、一億総中流を謳歌したことは周知のとおりです。

その後バブル崩壊と共に登場したグローバリゼーション（グローバルスタンダード）は、アメリカ型標準というよりウォール街標準で市場原理主義すなわち市場こそ資本主義社会が安定して維持される最も効率的な場であり、すべての経済活動が市場によって効率的に運営されることで利潤を生み社会に繋がるとしました。しかし実情は、アメリカ型資本主義社会化による金儲けがすべて、弱肉強食のジャングル論理で、勝ち組と負け組、貧富の二極化が顕著となるなど、様々な格差社会を招来することとなりました。結果はご存知のとおり犯罪発生が激増、超一流企業社員の不祥事の多発、利益優先によるJR福知山線事故、耐震偽装、ホリエモンなどなど日替り報道が続く時代となってしまいました。（増山栄太郎他）これらの事象は、ロータリーの草創期シカゴ0アワーと称された時代、アーサー・F・シェルドンの成功は飽くなき貪欲と利己主義によってもたらされるものではなく、恒久的成功に至る確実な道はサーピスの道である。正しい考えを持ち心の豊かな商人が最も成功していると思いが至り「最もよく奉仕する者は、最も多く報いられる」が導き出された頃の世相にきわめて類似していると思います。

一方、東洋では釈尊の教えに「上求菩提、下化衆生」があり、自身の努力向上と共に他に対する思いやりと慈しみの心を持つことと説いています。すなわち私達の社会はお互いの奉仕と協力によって成り立っていて、各人が自立しつつも同時に他のために手を差し延べ合ってこそ向上発展も生まれ、自他共に真の幸福への道が開けて来ると教えています。また、「自他一如」は、自分と他の一切のものはすべて密接不可分な繋がりがあり、決して切り離して考えることはできないということで、自分は他のすべての存在によって生かされていることを知り感謝の心を持つと共に、自分も他を少しでも生かすことのできる存在であらねばと説いています。（法華宗大僧正大塚日正）

当地区ゆかりの二宮尊徳は、「経済の裏付けのない道徳は寝言と同じ、道徳の裏付けのない経済は罪悪と連なる」といって「経済と道徳を融和し、私利私欲に走らずに社会に貢献すれば自らに還元される」と『報徳思想』を説き仁義礼知信の五常の中央に徳を置く生き方を示しました。トヨタグループの創始者豊田佐吉は、この報徳思想の実践者として、その経営精神の拠り所とし今日の隆盛の基としました。（吉村光右）

1906年シカゴRCにおける最初の綱領の第1条「会員の業務上の利益を振興すること」という会員の職業上の相互扶助から始まり、あくまでも正直勤勉を前提に商業道徳の水準を上げようとするには、犠牲、献身、誠実、名誉と他人に対する思いやりと尊重が、綱領の理念の根幹でありました。ロータリーの先達によるもう一つのモットー「超我の奉仕」さらに「職業倫理訓」「四つのテスト」などから、1. 事業上の倫理基準の向上。2. 社会に存在するあらゆる正業の価値に格差をつけない。3. 自己の職業の社会的意義の認識を深める努力をする。これらを改めて服膺されると共に、職業とは生活の糧として有償で交換される人間関係であることも認識されて、荒廃（グローバリズムによって）してしまった資源の乏しいわが国を、かつて支えてきた和の精神を取り戻し、格差の解消に向けてロータリアンとして行動されますようお願いいたします。

米山記念奨学会は、昨年RIからロータリー活動として正式に承認されましたので「ロータリー米山記念奨学会」と称することとなりました。

わが国では、1967年以降財団法人として文科省の管轄下にあり、特定公益増進法人として認定されていることから、寄付金は税法上「特定寄付金」として扱われ、寄付金控除対象となつて適用下限額は5,000円に引き下げられました。

今年度も当地区目標18,000円（月額にして1,500円）の寄付のできる奉仕が米山奨学事業サポートです。当地区は、会員各位の理解と好意によって毎年1人当りの寄付額は、全国においてベストテンの常連になっています。

クラブによっては毎年米山功労クラブ表彰（特別寄付金累計100万円毎に表彰されます）を受けているクラブもあります。また特別寄付金と普通寄付金の会計が1,000万円に達する度に達成クラブ表彰が受けられます。

米山奨学生にとって異文化・習慣などの理解を深めるためのプログラムとして、ワンデイホスピタリティ、時には当地区ロータリアン経営の温泉宿に招待したり、クラブでの卓話、当地区で実施しているライラセミナー（11月3・4・5日の3日間実施予定）への参加、さらに地区大会への参加してもらい、特に後の二つは義務出席として、できるだけコミュニケーションの場として多くの機会を提供していただきたいと思います。

米山奨学事業豆辞典06～07年度版は、既に会員のお手元に届いていると思います。ハンディタイプですから携帯電話と一緒に携行されるようお願いいたします。



職業奉仕月間によせて

奉仕プロジェクト委員会
地区職業奉仕委員長

川島 淳 一
(岩舟RC)

10月は職業奉仕月間です。この月間は皆様方ロータリアン一人ひとりが、自分にとって職業奉仕とは何かを改めてお考えいただきたいと思います。

ロータリーの掲げる四大奉仕の中で「職業奉仕」は難しいもの、理解しがたいものとされています。私たちロータリアンは職業分類の原則に基づいて選ばれた、地域におけるそれぞれの分野を代表する職業人の集団であるロータリアンで、又、その集団を形成するロータリアンが「職業奉仕」というロータリーの最も基本的な概念を解りにくいものとしていることは多分に問題があると言えるでしょう。

「職業奉仕」の概念は他の三つの奉仕概念（クラブ奉仕・社会奉仕・国際奉仕）とは違い、最も基本的で最も大切なものと位置づけられているものです。自分の職業に倫理性を持たせ、道徳的水準の向上に努め、その理念を自らの職業を通して社会に貢献、奉仕し、理想社会を目指すものです。この考え方は、他の奉仕団体にはないロータリーだけの独特の理念であって、ロータリーの哲学でもあり、それが故に「ロータリーの金看板」と言われるのであります。

今、私たちの周りには政治・官僚・社会など、いずれにも目を覆うばかりの不祥事が頻発しております。今こそ私たちロータリアンが自らの職業を通して社会への奉仕、ロータリーの掲げる「職業奉仕」の理念に忠実、真摯に相対し、優れた職業人、社会人たるべしと心掛け、社会浄化の先駆けとなるほどの、気概を持たねばならないと思うのです。

地区職業奉仕委員会では去る7月2日に宇都宮東武グランデにおいて、奉仕プロジェクト委員会と新世代プロジェクト委員会との合同研修会を行いました。

当日は奉仕プロジェクト委員会と新世代プロジェクト委員会との共通の課題であります青少年問題を取りあげ、栃木県警察本部生活安全部少年課付きの荒山秀夫様に「青少年の現状と対策」、ロータリーガバナー会全国青少年育成委員会委員長前川昭一様から「ロータリーと青少年育成」と題した講演会を開催し大変有意義なお話しを伺いました。午後1時よりそれぞれ分科会にうつり、職業奉仕委員会は龍田の間にて地区内クラブの委員長さんと奉仕プロジェクト委員長さんのご参加を頂きました。最初に半田久一カウンセラーより職業奉仕の意義とCLPについての解説を頂きました。研修会では参考資料とするためクラブ委員長さんより06～07年度の事業計画のアンケートをもとに村上地区委員よりアンケートの分析の報告があり、その後6グループに分かれて大変活発な討論がなされました。

アンケートの集計からは、職場訪問88.6%、クラブ会員による卓話45.7%、外来者による卓話22.9%、警察官の表彰17.1%となっており、お互い会員同士の職場（会社）の内容を理解しあい情報を共有し、協力しあい、少しでも自社の職業の道徳水準を高める努力をしようとする気持ちがあるように思われました。又、参考になる事例としては、高等学校・中学校等への講師派遣、「もうけ話」「もったいない話」（リサイクル）の卓話等、大変興味のある事例の発表がありました。時間の制約もありましたが、大変実りの多い研修会でした。

皆様方にはこの「職業奉仕月間」に「職業奉仕」について十分な討議をしていただき、本年度RI会長のテーマであります『率先しよう』のもと計画の実行をはかりクラブの活性化をお願い致します。



醍醐味

米山記念奨学会委員長

池嶋英哲

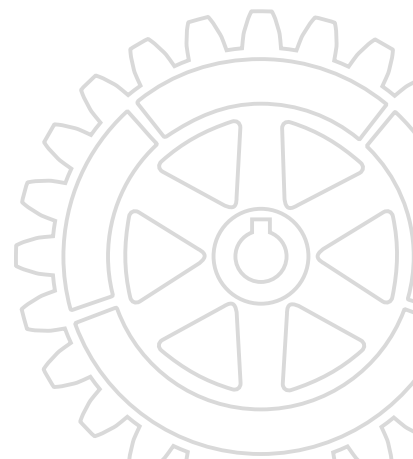
(西那須野RC)

日本のロータリアンの誇り、米山奨学事業の最大の特長に世話クラブとカウンセラー制度があります。奨学生の時の学生達との交流は、それはそれで素晴らしい感動が数多くございますが、本当の素晴らしさは、卒業後の交流の中にこそあるような気がしてなりません。それが「期間終了後のフォローアップと交流」を度々お願いする理由です。

6月のある日、私の所に大きなダンボール箱が届きました。大きさの割に軽いものでしたので何かと思い差出人を見ますと、昨年度カウンセラーを勤めた学友からでした。この学生は浜松に就職が決まり、引っ越しもあって、3月30日が提出期限のレポートが4月にずれ込んで心配した学生でした。箱を開いて見ますと、「初月給を貰ったので心ばかりのものを送ります」という手紙を添えて、クラブ会員へは静岡産の新茶と、ロートルが多くなった当クラブのロータリアンの為に、浜名湖名物「夜のお菓子うなぎパイ、すっぽんパイ」の詰め合わせ、カウンセラーの私には新茶が入っておりました。

2006年7月4日火曜日、西那須野ロータリークラブ大原年度第1回例会当日、大原会長始め会員一同、「本日のお客様」の登場を今や遅しと待ちかまえておりました。1998年度～2000年度まで大原会員がカウンセラーをした台湾からの留学生で、国際医療福祉大学卒業後アメリカへ再留学して行った、張蔚麗さんが訪問してくるようになっていたのです。渡米後数年ぶりに大原会員のところへ連絡があり、7月から会長を勤めることを話したところ、お祝いを兼ねて第1回例会に出席するという話になったということでした。列車の都合で少し遅れて会場入りした張さんは、挨拶の日本語こそ少々へたくそになりましたが、大変元気そうで、周りの会員とも旧交を暖めておりました。仏教の大般涅槃経には「牛乳から酪を作り、酪から蘇を作り、蘇から醍醐を作る」とあって、その醍醐の味を「醍醐味」として最も美味なるものとしています。アメリカ土産のチョコレートや、新茶もパイも素晴らしい味でしたが、「カウンセラーになり、留学生との交流し、卒業後も交流を深める」それこそがカウンセラーとしての満足感、カウンセラーの「醍醐味」と感じました。

今年の地区の米山記念奨学会の目標は、新しい世話クラブ、カウンセラーを殖やすことです。今まで経験したことのないクラブ、会員にこそカウンセラーになって頂き、留学生との交流を通じて、「醍醐味」をぜひ味わって頂きたいと思っております。





米山月間によせて

米山記念奨学会小委員長

塚 越 啓 司

(足利東RC)

東京ロータリークラブが米山梅吉氏の功績を記念して米山奨学制度を構想し、1953年から「米山基金」と称し募金をはじめ、東京ロータリークラブの会員及び関係会社から募金された約260万円によって発足し、1957年より国内全クラブの合同事業として、ロータリー米山奨学委員会が結成され全国組織となる。1959年世話クラブ制度を設置。1967年財団法人ロータリー米山記念奨学会設立許可を得る。1971年カウンセラー制度設置。1970年寄付金の免税処置が認可される。1983年米山月間を10月とする。2002年4月採用から大学推薦制度を実施現在に至る。ロータリーの理想とする国際理解と相互理解に努め国際親善と交流を深める。優秀な留学生を支援し、世界平和の創造と維持に貢献することを目的としております。発足当初は困っている留学生の財政的に援助する救貧型奨学金制度としてスタートしましたが、日本と留学生を送り出す国の社会経済の発展に従い「知的貢献型奨学金」制度に変わってまいりました。1967年財団の法人資格を取得し財政基盤を固め運営の透明性を確保するとともに、米山記念奨学会の特徴である。

「世話クラブ」と「カウンセラー制度」を設置し、奨学生に対し単に財政援助をするだけでなく、人生経験豊かなロータリアンが留学生一人ひとりの心のケアを図り、ロータリーの大きな懐と「和」中で留学生の心をともに育ていくこの制度はほかに無い米山奨学事業の大きな誇りでもあります。奨学事業を始めて以来、世界106カ国から12,706人に及ぶ留学生を支援して、今では事業規模と採用人数においても日本最大の民間奨学団体となっております。私自身地区委員になり委員会に出席し、校友会の研修会に参加し奨学生と共に行動して見ましても、皆さんそれぞれ礼儀正しく優秀な学生達ばかりです。子供、夫を国に残して、日本での更なる勉強に励んでおる姿は清々しく美しいものです。皆さん前向きで当初の目的を達成する意志で勉学に励み、日本の文化、習慣を理解しようとしております。皆さん自分の個性を生かし日本と世界平和の創造と維持に貢献しようと思っております。とても美しいことだと思います。

寄付収入の減少により2005年度から奨学生採用数が1,000人から800人。大学生が12万円から10万円に、大学院生が15万円から14万円にそれぞれ減額になりました。

当地区は2004年一人当たり18,014円、2005年18,260円、2006年19,726円と一人当たりの金額も多くなっております。当地区全会員の理解と情熱の表れかと思えます。ありがとうございます。

米山奨学事業をもっと理解するには会員一人ひとりがカウンセラーになり奨学生と接することではないでしょうか。米山奨学事業を理解していると思っていても実行して始めて理解したことになることだと思います。

我われロータリアン一人ひとりの力は小さくとも、クラブ活動になり分区から地区、全国と大きくなることによって、日本で最大の民間奨学団体となるのではないのでしょうか。今、私たちがしなければならないことは「東京ロータリークラブが米山梅吉氏の功績を記念して「米山基金」としてスタートさせた人たちの「心」を尊重して「米山奨学事業」を継続して行かねばならないことだと思います。「継続は力なり」

米山記念奨学会の目的「ロータリー米山奨学生はロータリークラブを通して日本の文化、習慣などに触れ、社会参加と社会貢献の意識を育て将来ロータリーの理想とする国際平和の創造と維持に貢献する人になることが期待される。」校友会の人たちの中にはガバナーになられた方、米山功労者になられた方もいらっしゃいます。一人でも米山記念事業を理解して実行してくださる方がおりますればよろしいのではないのでしょうか。

地区会員の皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。



水輸入大国日本 —インターアクト年次大会について—

インターアクト地区委員

菅野 進 一

(矢板RC)

今年度は、私ども矢板ロータリークラブの提唱校であります塩谷高校がホスト校として年次大会を2006年8月5日（土）に行いました。

早い段階から打ち合わせを行い、すべて担任の先生と生徒による第10回のインターアクト年次大会を終了させることが出来ました。多くの方々にお世話になり本当に有難うございました。

さて、大会当日何を実行すべきか色々と提案されました。最初「餃子作り」が面白いのではないかと考えました。しかし、学校の文化祭であれば大変楽しく、面白いですが、インターアクトクラブの目的と照らすと目的から外れているのではないかと気づきました。

次に考えたのが国際ロータリーで考えている「水保全」の問題です。今後世界においては水不足による戦争が起こるのではないかと危惧しているのです。日本は国の周りを海に囲まれ、豊かな水はどこにでもあり、水不足などとも考えられないことです。ところが見方を変えると、食料の自給率が50%以下である我が国にあっては、不足の食糧は海外から輸入しているのです。輸入している食糧は水がなくては育てることは出来ないのであり、そういう意味では水の輸入大国なのです。

当地区には日本の名水100選の「尚仁沢の湧水」があるではないか、これを活用すべきであるとの結論に達しました。

湧水地の清掃、親水公園の清掃を実行し、参加者にペットボトルを持参して頂き、帰りには湧水をペットボトルに詰めてお土産として家庭に持ち帰り、美味しい水を飲みながら「水保全問題」について語り合ってもらいたい、これが大会の狙いだったのです。

今年は7月中はほとんど曇りや雨の毎日で予定している当日の天気次第では、雨の場合はどの様にするのか2通りの行事を計画せざる得ない状態で、8月に入り梅雨明け宣言が出され前日には明日は確実によい天気と確信し当日を迎え、朝からグングン気温も上がり計画通りの行事を遂行できました。

「大会のテーマともに生きる喜び」を実体験出来たのではなかったか、共に汗をイッパイかいて「人はお互いに支



え合わないと生きてゆけない動物であること」を実感出来たことでしょうか。午前中は塩谷町立統合中学校の素晴らしい体育館にて開会式を行い、11時頃よりバスにて移動を開始して、尚仁沢はとらんど親水公園等で二班に別れ清掃活動を行い、午後は本番の尚仁沢湧水までの散策。途中、今年は長梅雨時の大雨で至る所土砂崩れがあって少し歩きづらかった所があったが、参加した生徒はそれほど苦にならなかった様でした。一緒に行動したロータリアンには多少厳しかったのではなかったかと思われました。

日本の名水100選の湧水に辿り着いて一同ホッとした感じが有ってとても良い年次大会であったと思います。



インターアクト海外研修旅行 —車椅子の輸送ボランティアに挑戦—

インターアクト地区委員

橋本 義彦

(足利RC)

平成18年7月23日（日）から3泊4日の韓国研修旅行に行って参りました。（インターアクター18名、顧問の先生4名、ロータリアン5名の総勢27名）

「インターアクトクラブの海外旅行」は単なる観光旅行ではないかとの批判があり、原点に戻って考えると、今までは奉仕活動に欠ける点があったと思います、今回初めて「空飛ぶ車椅子の輸送ボランティア」に挑戦してみました。

高校生との国際交流は先方のスケジュールの都合がつかず残念がらなせませんでした。

以前より県立栃木工業高校及び真岡工業高校の生徒さんが国内で不要になった車椅子を集め整備、修理して「空飛ぶ車椅子」として東南アジアの各地に送り届けておりました。

航空便で送るには多額の費用がかかり、そこで考え出されたのが「輸送ボランティア」なのです。海外旅行に行く際に自分の荷物を出来るだけ少なくして飛行機に無料で積載できる規定の重量（通常20キロ）を利用し、満たない部分の重量に対応して完成した車椅子を積み込み無料で運搬しようとするものです。

今回、韓国に行く際に国内各校で修理した車椅子22台を奉仕活動として輸送したのです。

ソウルで一番古く、また大きな障害者福祉施設である「ソウル障害者福祉センター」へ寄贈して参りました。先方の施設では思わぬプレゼントに大変感謝され、そこの教育、リハビリ施設やパン工場等を丁寧に案内して戴きました。子供達には福祉科の生徒もいて興味深く学んでいたようです。特にその時の車いす贈呈式での岡川委員長長のハングル語の挨拶には先方に親近感を持たせ大変好評でした。

「板門店」見学では、ソウルよりガイドさんの説明（韓国南北分断の歴史、韓国の教育、南北離散家族、拉致問題その他諸事情）を聞きながら38度線に向かうのですが、そこに近づくに従い、異様な緊張感を感じ子供達とあまり年が離れていない若者が銃を持って母国の警護に当たっている姿を目の当たりに見て、子供達も南北の厳しい情勢と日本の「平和ぼけ」に近い社会とを比較し、考え深いものがあったようです。

今回の韓国研修旅行では、かなり前から各方面と綿密に連絡を取りながら計画していたにも関わらず、旅行間際になっての北の「テポドン事件」が発生、旅行中止か否かまで検討する羽目になり、韓国観光公社（韓国の出先機関である公的な機関）からの公文書の取り寄せ、安全の確認、父母との確認を得て実行出来た訳ですが、子供達の大半は海外旅行の経験が無く、前から楽しみにしていただけに、是非、実現させてやりたい！との岡川委員長長の熱意なくして実現不可能ではなかったのではと思います。この海外研修は子供達が国際人への第一歩を踏み出すきっかけとなり将来に大きなプラスになるものと思われまます。

韓国、中国で、年何回か一部の人間の反日運動が新聞等で問題になりますが、外交、政治で使われているようで、1日数千人以上の一般民間人が行き来している日韓、日中の現状では互いに切っても切り離せない関係になっていると思います。私の知っている日本で学ぶ留学生（4年以上滞在）は皆、親日家になっています。今こそ若者の交流を多くし、異文化を互いに理解出来るようになれば反日、その反動での反韓、反中もなくなるのではないのでしょうか。

最後に私の座右の銘「愛は注ぎ溢れた分だけ自分に返ってくる」

まだ注ぎ足りないのでしょうか？意義ある研修旅行でした。





地区概況報告

地区幹事

大 島 伸 介

(栃木西RC)

クラブ会員数	2005年	7月1日	50RC	1979名
	2006年	7月1日	50RC	1948名
	2006年	7月末日	50RC	1960名

ロータリー財団総寄付額 (2005年7月～2006年6月)

年次寄付	目 標	\$ 238,569.40
	実 績	\$ 252,954.72
	達成率	106.03%
	1人当り	\$ 127.82
	クラブ目標達成クラブ	29クラブ
	地区目標達成クラブ	(1人当り\$130-) 25クラブ
使途指定寄付		\$ 11,196.37
基金寄付		\$ 49,642.85
総 計		\$ 313,793.94

米山記念奨学会寄付 (2005年7月～2006年8月)

過去累計額	965,087,678円
普通寄付金	214,605,950円
特別寄付金	750,481,728円
1人当り平均額	19,726円 (全国第5位)

ローターアクトクラブ 合計3クラブ

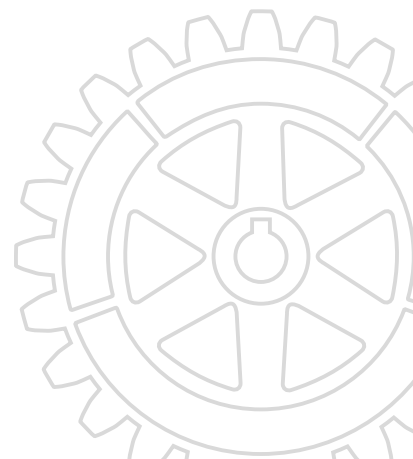
足利東RAC (足利東)	7名
鹿 沼RAC (鹿 沼)	15名
宇都宮東RAC (宇都宮東)	10名

インターアクトクラブ 合計11クラブ (579名)

白鷗大学足利高校 (足利東)	16名
宇都宮短大附属高校 (宇都宮西)	20名
塩谷高校 (矢板)	344名
足利高校 (足利)	23名
青藍泰斗高校 (葛生)	25名
黒磯高校 (黒磯)	41名
文星芸術大学附属高校 (宇都宮)	7名
足利短大附属高校 (足利)	10名
國學院大學栃木高校 (栃木)	16名
栃木工業高校 (栃木西)	62名
足利工業大学附属高校 (足利東)	15名

栃木商業高校 (栃木南) 2006年3月 終結

文星女子高校 (宇都宮北) 2006年11月11日 認証状伝達式





第1回会長・幹事会報告

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2550

7月1日会員数の変動

	クラブ名	2000年 半田年度	2001年 田村年度	2002年 亀和田年度	2003年 佐野年度	2004年 村上年度	2005年 大竹年度	2006年 落合年度
第1グループ	大田原	49	48	51	48	48	48	47
	黒磯	68	67	59	56	51	48	44
	西那須野	71	64	61	61	54	49	49
	黒羽	31	34	31	30	27	23	22
	那須	31	31	29	25	27	26	24
	塩原	22	21	19	16	15	13	13
	大田原中央	18	17	15	13	12	13	21
第2グループ	鳥山	18	21	22	19	18	16	17
	氏家	48	47	44	41	35	35	36
	矢板	43	39	35	45	41	39	38
	馬頭小川	29	28	24	20	22	23	23
	高根沢	35	33	29	25	18	14	17
	矢板やしお	22	18	15				
第3グループA	宇都宮	133	129	118	114	107	96	101
	宇都宮西	73	72	65	64	62	63	60
	宇都宮北	53	53	53	51	53	54	57
	宇都宮90	57	54	53	52	48	46	44
	宇都宮陽北	29	31	36	34	33	33	35
第3グループB	宇都宮東	129	120	112	112	108	103	104
	宇都宮南	64	66	58	55	54	52	49
	宇都宮陽東	40	36	37	40	40	39	41
	宇都宮陽南	29	31	25	22	21	21	19
第4グループ	真岡	71	69	65	60	52	49	40
	益子	53	50	47	46	45	45	44
	真岡西	52	52	62	50	49	44	45
	石橋	31	30	31	32	31	30	28
第5グループ	小山	64	57	56	55	53	48	47
	小山南	25	24	26	19	18	19	20
	小山東	50	46	44	47	45	42	42
	小山北	40	34	35	34	33	31	29
	小山中	30	31	30	31	31	29	27
第6グループ	栃木	70	66	65	66	60	58	55
	栃木西	51	60	52	46	45	43	43
	壬生	25	23	23	23	19	19	19
	栃木南	56	60	56	53	46	44	36
第7グループ	日光	44	38	32	31	30	28	31
	鹿沼	71	65	70	68	65	69	70
	今市	60	57	58	57	57	52	46
	鹿沼東	57	58	60	54	54	49	47
	栗野西方	22	23	20	21	21	18	17
	鹿沼中央	36	30	26	23	29	32	31
	今市きぬ	47	40	38	36	33	30	30
第8グループ	足利	57	54	50	50	49	47	49
	足利東	56	55	69	63	64	84	61
	足利西	26	25	22	21	15	13	15
	足利わたらせ	30	31	26	27	30	30	26
第9グループ	佐野	78	76	73	70	62	80	59
	葛生	45	48	47	47	45	43	36
	田沼	43	41	40	40	41	39	40
	佐野東	38	34	34	28	28	21	23
	岩舟	27	23	24	29	30	26	30
	50RC合計	2449	2350	2262	2169	2074	1979	1948
	前年比増減		-99	-88	-93	-95	-95	-31

鹿沼 R C 7月27日(木)

会場 福田屋百貨店

第7グループ・ガバナー補佐 石川 昭 男

7月27日木曜日、第7グループで最初のクラブ公式訪問は、鹿沼ロータリークラブでした。会長の黒本敏夫様、幹事の狐塚泰久様、パストガバナーであります石原敬士様など会員の皆様の出迎えを受け、公式訪問が始まりました。1960年の創立であり、この10年間会員数を減少させることなく71名の会員を在籍する鹿沼ロータリークラブは、威風堂々としたクラブでした。



鹿沼 R C

会長・幹事との懇談は、和やかに始まり、会長よりクラブの現況の説明を受けるにつけ、鹿沼クラブが今あるのも並々ならぬ会員の努力や協力、時代を先取りする意識がクラブのDNAになっていたことがわかりました。それは地区に対しての人的貢献、財団や奨学会への寄付活動、奉仕活動に対しての受賞や表彰の多さを語ることでなく、新人会員がクラブにとけこむプログラムとして幾つかの愛好会を上手く活用する事や、出席なども例会だけでなく他クラブや大会などへの積極的に参加させることでロータリアンになった楽しさを早く確認させることでした。

昭和40年代生まれの会員（8名）が先輩会員と一緒にロータリーソングを歌う光景は、このクラブを象徴しているし、今後のロータリー活動の進む一つの方向を示しているようにも思いました。最後に規範たるクラブで有り続けることを願いつつ公式訪問を終了しました。

足 利 R C 8月3日(木)

足利西 R C 会場 蓮岱館

第8グループ・ガバナー補佐 金 井 邦 夫

足利わたらせ R C

8月3日、足利・足利西・足利わたらせの3クラブ合同夜間例会に於いて落合雅雄ガバナーの公式訪問が足利クラブの例会場「蓮岱館」で開催されました。例会に先立ち3時50分より足利クラブ、足利西クラブの順にガバナーと会長幹事との懇談会が実施されました。各クラブ共ガバナーより適切な助言を頂き、今後の事業展開に大変有意義な機会でありました。

合同例会場ではメンバー71名の歓迎の拍手に迎えられて入場着席し、足利わたらせクラブ木村会長の点鐘により開会された。そして落合ガバナーと同行者それに3クラブの会長幹事が紹介されました。足利クラブ恒例のピアノ演奏を聞きながら会食、歓談と各テーブルごとに友情の輪を広げました。3クラブを代表して足利クラブ岡平会長よりガバナーへの歓迎の挨拶、各委員会報告がなされました。ニコニコボックスの喜捨が多い為、各クラブの次回例会に発表とさせていただきます幹事報告は書面にて配布させていただきました。

落合ガバナーの卓話では、今年度のR I会長のテーマ「率先しよう」の説明がなされ、国際ロータリーと地区ロータリーそして各ロータリークラブとの繋がり大切さを解り易く卓話されました。そして結論として各ロータリークラブの自主性、自発性を尊重し発揮して地域と国際性を視野に入れた活動こそ、ロータリークラブの運動である事を説かれました。炉辺会合では各クラブより事前に提出された問題点に助言を頂きましたが、限られた時間の都合で各クラブ1件のみとなりました。有意義な又適切なアドバイスにガバナーとメンバーとの一層のコミュニケーションが得られたと確信致しました。又、ガバナーより今年度の地区大会の内容説明と参加要請を受け、メンバーの一層の協力の理解を得る事ができました。

最後に足利西クラブ田村会長の御礼と落合ガバナーの益々の御活躍の挨拶が述べられ点鐘致しました。その後、会員と各クラブ個々の写真撮影をし、落合ガバナーに対し感謝の意を込めた拍手により御送り致しました。又、8時20分より足利わたらせクラブの会長幹事との懇談会が設けられ、定刻通り終了する事が出来ました。今年度初めての3クラブの合同例会公式訪問に際しガバナー事務所をはじめ各クラブの御協力、御支援頂きました事に心より感謝申し上げます。



足利・足利西・足利わたらせ R C

鹿沼東 R C 8月9日(水)

会場 鹿沼商工会議所

第7グループ・ガバナー補佐 石川 昭 男

8月9日水曜日曇り、私が分区代理で訪問した時、幹事であった長坂道夫様が鹿沼東ロータリークラブ40代会長になっており、幹事の油井保志様や役員の方々が出迎えて頂き、鹿沼商工会議所にて鹿沼東ロータリークラブ公式訪問が始まりました。同郷の故バスターガバナー片柳丈夫氏が、ガバナー選考委員長の時、私をガバナーにと推薦を頂きましたが事情でお断り申し上げた事が、今でも心残りになっております。



鹿沼東 R C

クラブ会長は、「誇りを持つロータリアン」を掲げ、発言からはロータリアンとしての自覚・意識・向上といった意識改革を押し進める熱意が伝わって来ました。

奉仕活動の概要を照査するに付け、クラブ独自で開拓する奉仕活動（スピーチコンテスト等）の多種多様さは、会員個々が持っている奉仕活動に対してのモチベーションの高さがあって初めて実現出来ることだと理解できました。また、このことが鹿沼東ロータリークラブの伝統なのかもしれません。

クラブの持っている個性、その個性の進化・伝統の継承を見守れる楽しさを公式訪問で確認できたことは、最大の収穫でした。思い出と熱意と発見、そして笑いで終えた公式訪問でした。

佐野東 R C 8月23日(水)

岩 舟 R C 会場 レストラン大津栄

第9グループ・ガバナー補佐 富田 諦 雄

第9グループとしては初めての試みである2クラブ合同のガバナー公式訪問が開催されました。会場はホストクラブである佐野東クラブの例会会場レストラン大津栄で行われ、午前中の会長幹事懇談会は佐野東クラブ、岩舟クラブの順番で大変活発な意見の交換がなされました。両クラブ共CLPの移行に関しては現在検討中であり、落合ガバナーより本日細やかなご指導を賜って次年度から発足出来るよう確信を持たれたものと思われまます。特に佐野東クラブは現在会員数24名と第9グループの中では最少のクラブである為、今年度の会員増強を純増3名と定め、その目標に向かって全会員が協力しようとする意気込みが感じられました。又、クラブの継続事業の一つである学童野球の後援では地元の犬伏東小学校が県大会で優勝し、関東大会に出場する事が決まりました。これからも子供達の夢を育てていきたいと思ひます。

一方、岩舟クラブでは毎年町の健康福祉祭りに医師会と協力して町民の健康診断を行っております。ベテランの会員に加えて医師の多い当クラブの特徴が生かされていると思ひます。又、岩舟ミュージカルサミットを開催され、ロータリーの広報に努められております事は大変立派な事だと思ひます。

午後12時半からは2クラブ合同の例会が行われ落合ガバナーより感銘の深い卓話を頂戴いたしました。例会終了後



佐野東・岩舟 R C

記念写真の撮影が有り、引き続き会場を変更して合同の炉辺会合が開催されました。多数の会員の出席のもと、CLP関係、職業体験学習、米山奨学会について等々大変活発な意見の発表と熱心な討議がなされました。両クラブは年に一回合同例会と合同のゴルフコンペを行っており、大変意気の合った例会とスムーズな会議の進め方に加え、予定の時間をオーバーするにも拘わらず有意義なガバナー公式訪問になったと思ひます。有難うございました。



故岡田昭郎パストガバナーを偲んで

真岡ロータリークラブ会長

飯 田 恒 夫

(真岡RC)

この度79歳の大寿を全うされ、天国に旅立たれた岡田昭郎氏通夜告別式には、地区ガバナー落合雅雄様をはじめ、地区内外より岡田昭郎氏に近きロータリアンの御会葬を賜り、クラブを代表して厚く御礼と感謝申し上げます。告別式には前R1理事板橋敏雄様はじめ多数の先輩諸兄より、弔辞のご拝読を賜り会員一同かさねて感謝申し上げます。施主を務められた信子夫人が、ロータリアンの心優しき友情に感涙を流されておられた姿が、私の心に焼きついております。誠にありがとうございました。

ここで岡田さんの当クラブの足跡を解きながら、故人を偲んで見ようと存じます。岡田さんは、当クラブに在籍されて31年、最年長会員でもありました。また通算で28年の皆出席を継続されておられました。いつも背中をピンと伸ばされた姿は、何処か古武士の様な威厳を漂わせておられました。昭和52年度職業奉仕委員長、翌年副幹事、54年度幹事、翌年社会奉仕委員長等歴任され、昭和60年に当クラブ第27代会長に就任され、「奉仕には愛を、クラブには和を」の会長方針のもと、68名の会員のリーダーとして数々の事業を展開され、特に岡田さんのライフワークでもあるポリオ絶滅に力を注いでおられます。平成元年第4分区代理として時の石原敬士ガバナーを補佐されました。平成11年第2660地区ガバナーに就任、当クラブより選出された初のガバナーでありました。地区大会開催等で会員一同、心をひとつにして頑張った事が、昨日の様な思い出として甦って来ます。ガバナー退任後は、地区諮問委員として豊かな経験を踏え御活躍をされておられました。先にも述べましたが、当クラブでポリオプラス委員長として9年間本職に留まり、全世界よりポリオ撲滅を目標に努力された事は、特記すべきことであるかと存じます。岡田さんの生前の文章より引用させていただきます。「ロータリー100周年記念の2006年の時点では、インド、アフリカで計3名の患者が出ました。2017年ロータリー財団創立100周年記念日を目指して撲滅運動を継続致します」ポリオ撲滅宣言が岡田さんの天空よりの思いで1日も早まります様、私達も努力して参る所存でございます。

当クラブも2年後には創立50周年を迎えることになります。その時まで岡田さんには元気で我々の相談相手として、御活躍される事を望んでおりましたが、今は残念でなりません。

病床でもロータリーをこよなく愛されておられた岡田さんのためにも、私達は心をひとつにして真岡ロータリークラブ躍進のために努力して参ります。

岡田さん、どうぞ安らかに、ご冥福を祈ります。ありがとうございました。

本日ここに国際ロータリー第二五〇地区を代表して、心より尊敬申し上げていた岡田昭郎バスターガバナーのご霊前に弔辞を捧げ、衷心よりの哀悼の意を表します。

岡田バスターガバナーに最後にお目に掛かりましたのは、本年一月三十日、ガバナー諮問委員会とそれに続く落合現ガバナーがエレクトトとして米国サンディエゴで開催される国際協議会に出席される壮行会の席でした。奥様に付き添われて、おみ足は些か不自由の様にもお見受けいたしました。お顔は何時もの通りロータリーに対する強い御意志を表した凛々しいものでありましたので、お大事にと申上げてお別れいたしました。

その後二度、諮問委員会にご欠席されましたので、お見舞いにならなければと思っていた矢先、八月二十一日突然の訃報に接しました。

貴方様のお元気であった日々を思い、何故早く参上してロータリーの真髓をもっとご教授戴けなかつたかと悔やまれてなりません。生者必滅、会者定離の理とは申せ、天の非情を恨まずにはいられません。特に愛情深くお仕えになつて居られた奥様始めご家族の皆様のご心中を拝察申上げます時、お悔みの言葉も無くただただ心から哀悼の意を表するばかりであります。

戦前一九二七年生まれの先生は、陸軍幼年学校から陸軍士官学校に進まれ、終戦により旧制水戸高等学校理科を経て医学の道に進まれ前橋医科大学をご卒業になりました。ロータリー活動におきましても、温かなお人柄の内に強いご意志で計画を実行されたのも、青年期における御修練の結果であると拝察されるのであります。

岡田先生は郷土真岡市に於いて岡田医院を創設され、優れた医療技術と人に対する温かい思いやりのお人柄と相まって、ご繁盛なされ地域医療に多大のご貢献を果たして来られました。医学界では、栃木県医師会の常任理事をお勤めに成られ、また、保護司としても活躍なされ厚生大臣表彰お受けになつたほか、紺綬褒賞受賞の栄にも浴されています。

ロータリーの関係では、一九七五年に、真岡ロータリークラブにご入会になり、一九八五―八六年度伝統ある真岡ロータリークラブの第二七代の会長をお勤めに成りました。

会長年度に於いては真岡クラブが従来培つて来た台湾六〇ロータリークラブとの姉妹関係を青少年交換プログラムにも拡大され、それ以来継続している交換は両クラブの友好の絆を磐石のものとなされました。

岡田先生と私が特に忘れる事の出来ないご縁を戴きましたのは、

先生を第二五〇地区のガバナーに推薦する役割を戴いてからで御座います。一九九七年も押し詰まつて参りましたのに、一九九九年―二〇〇〇年度のガバナーノミニが未だ決まつておりませんでした。推薦委員の責任として八方当たっている内に真岡クラブに白羽の矢が立ちまして、一九九七年一月七日に真岡クラブを訪問し、クラブのご内諾を戴いた上で、いよいよ一月二四日に先生のお宅を訪問、熱意を持つてお願い致しました。先生のご意志をほぼ確認できた時、先生は奥様の同意が得られるかどうかと仰いました。確かにロータリーのガバナーは奥様の助力が無ければ出来ません。そこで私は、信子奥様に私の家内の経験等をお話して、必ずや素晴らしい生涯の思い出と成る事をお話し、ご了解を得ることが出来ました。この時の、岡田ご夫妻の大事な決断の時の美しいお話のやり取りを今でも忘れる事が出来ません。

そして先生は、一九九九年―二〇〇〇年度のガバナーを実に立派に勤められました。その年度の国際ロータリー会長は、イタリーミラノから出られたカルロ・ラヴィッツァ氏で、ロータリー二〇〇〇、活動は「堅実、信望、持続」がモットーでしたが、正に岡田ガバナーを象徴するものであったと思われまます。先生をガバナーにご推薦できた事を推薦人の一人として誇りに思っています。

先生は、ガバナーご在任中も、バスターガバナーに成られてからも、特に国際親善活動推進に精力的に努力されました。世界社会奉仕活動推進の為に、フィリッピンマニラ地区の無料医療奉仕やインドネシアへも随行されました。

このように、強い意志を強靱な行動力を持って貫徹された先生の大きな業績を思います時に、今こうして先生のご霊前に額ずいて慙愧に絶えない事は、国際ロータリーとしても二五〇地区としても、そして我々地域社会としても、掛替えない偉大なロータリーを失つた悔しさであります。

今先生の御霊を前にして、正に巨星落つという感懐から悲しみは尽きませんが、先生の残されたご功績は永久に消える事無く長く後世に語り継がれる事と思ひます。

どうか在天の星となつて岡田家の行く末と私達ロータリーの世界へのご加護あらんことをお祈り申し上げます。ここに永別の儀典にあたり、岡田先生への限り無き尊敬と感謝の念を表し、御霊の安らか成らん事をお祈りして弔辞と致します。

平成十八年八月二七日

国際ロータリー元理事

板橋 敏雄

合掌



企業と人権活動 ーロータリアンとして必要なことー

地区会計長

久嶋 柳 次

(栃木西RC)

はじめに

本年度のテーマに、良い地域社会を築くために「率先しよう」、そのため良きリーダーは変わることのない誠実さ、他人に対する関心、寛容の精神を求めること、落合年度のサブテーマに「行動に思いやりの心を」掲げています。

このことは、リーダーは人権の基本的要素である相手を人として思いやる心、相手の立場に立って考えること、その理念の「人間の尊重」を基本として行動するということではないでしょうか。

そこで本稿では、会員の多くの方は企業に関わっています。企業と人権について考察し、併せてロータリアンとして必要なことについて記述してみたいと思います。

企業と人権との推移

(1) 企業と人権は別物と考えられてきました。「部落地名総監事件」が発生し、同和地区住民又はその出身者に対する雇用差別、結婚差別等に利用することを意図して、全国の同和地区の所在と地名、戸数等を記載した図書を作成販売され、それを多数の企業が購入し、これにより就職の機会均等、結婚の自由に重大な影響を及ぼし様々な人権問題を起しました。

この問題を契機に企業に同和問題とは何か、差別とは何か、企業の社会的責任とは何かが問われ、企業として人権問題の取り組みを求められました。

その後、バブルが弾けてから企業と人権との関わりが多様化し、職場における、昇進差別・就職差別、セクハラ、公害等人権問題の相次ぐ発生、また、男女共同参画社会基本法・障害者基本法・公害基本法・個人情報保護法・男女雇用機会均等法、人権に関わる法律の制定と共に、人権と環境についての企業の責務と、その対策が求められました。

(2) 一方、人権・環境の取り組む姿勢により企業評価をする、自治体では入札条件にも重視する、投資においてもいい企業の株を長期的に保有し企業の活動を応援する等の傾向が現れ、企業としても人権問題が起きないように配慮する、いわゆる企業を守るための人権から人権問題を積極的に取り組むことにより社会的評価を得て、企業の実績を上げる「生み出す人権」このような視点で企業と人権を捉える見方もできました。

企業に求められるもの

豊かな人権感覚をもつ市民の集まりは、豊かな文化都市を築くと言われます。企業でも、豊かな人権感覚を持った経営者・従業員の集まりは、豊かな企業を造るのではないのでしょうか。

今、社会は企業を評価するに人権・環境・社会貢献度を重要視していますし、コンプライアンス（法令遵守）に加え、環境問題や安全、人権への配慮など社会的責任を果たすことが企業に求められています。

企業の基本理念

私たちの身近なものとして、県・市町村では「まちづくり条例」人権基本条例、男女参画共同社会条例等、多くの人権施策の条例が誕生しました。その中で基本的理念に人権の基本理念である「人間の尊重」を謳っています。

同じ社会を構成する一員である企業についてはどうでしょうか。自治体も企業も人の集まりです。同じことが言えるのではないのでしょうか。

人権の視点なくして企業の長期的発展はないといわれます。会社法が改正され会社自治が大幅に認められた今日、定款等に基本理念として「人間の尊重」を謳い、社会的責任を果たすべき時期にきているのではないかと考えるわけです。

おわりに

共に生きる、相手を人として認め、相手を思いやる心をもって行動する。ロータリーの綱領に謳われているもの、新世代の使命も、その底辺には人権の基本理念である「人権尊重」をもって行動することではないのでしょうか。

本年度の「率先しよう」ー「行動に思いやりの心を」ーテーマに、企業と共にロータリアンも積極的に人権と環境に取り組み、行動することが求められると思います。

国際ロータリー 第2550地区

2006～2007年度 地区大会のご案内

歴史と文化の香り高い栃木市でお会いしましょう

ホストクラブ：栃木西RC コ・ホスト：栃木RC、壬生RC、栃木南RC

下記の行事を予定しておりますので会員皆さんのおいでをお待ち申し上げます。

地区大会実行委員長 平野正之

予定行事

◇記念ゴルフ大会

平成19年4月27日(金) 都賀カンツリークラブ

◇RI 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

平成19年5月12日(土) 宇都宮グランドホテル
(栃木市出身 ギタリスト ソンコ・マージュ出演)

◇本会議及び記念講演会

平成19年5月13日(日) 栃木市文化会館大ホール
・講演者：諏訪中央病院 名誉院長 鎌田實先生

※尚、詳細につきましては随時ご案内申し上げます。

物故会員



おか だ あき お
岡田 昭郎 (79才)
(真岡R.C)

物故 平成18年8月21日

1979年～1980年 クラブ幹事
1985年～1986年 クラブ会長
1999年～2000年 ガバナー
ポールハリスフェロー
ベネファクター
マルチプルポールハリスフェロー (2)
米山功労者 (7)

第2550地区 新入会員



す わ ひで お
諏訪 英雄
(大田原R.C)

(株)栃木銀行大田原支店
支店長



ロータリー会員の皆様との友好を深め、
地域に貢献したい。



さ じ てつ ぞう
佐治 鐵造
(黒磯R.C)

(株)佐治商店
代表取締役



再入会ですのでロータリーの原点に戻っ
て活動していきたい。



き く ち ひろ ゆき
菊地 博之
(黒磯R.C)

(株)栃木銀行黒磯支店
支店長



会員の皆様の教えに学び着眼大局・小局
着手の心がけで地域貢献に努力したい。



き っ か わ あ つ み
吉川 温美
(那須R.C)

(有)逢瀬の宿静
専務取締役



入会の承認を賜り感謝致します。若輩に
つきご指導宜しくお願い致します。



ほ り う ち や す お
堀内 保男
(那須R.C)

(株)エムアンドエムサービス
プランヴェール那須 取締役事業本部長



入会の承認を賜り感謝申し上げます。ご
指導宜しくお願い申し上げます。



に し む ら つ よ し
西村 毅
(宇都宮R.C)

(株)東邦銀行宇都宮支店
支店長



た む ら み の る
田村 実
(宇都宮R.C)

(株)スマイルスタッフ
代表取締役社長



い な ば せい い ち
稲葉 清一
(宇都宮R.C)

日興コーディアル証券(株)
宇都宮支店支店長



い ち は ら ひ さ の り
市原 久典
(宇都宮南R.C)

ソニー生命保険(株)
宇都宮支社



皆様のお役に立てる様がんばりたいと思
います。どうぞよろしくお願い致します。



な か む ら ま さ る
中村 勝
(足利東R.C)

(株)中村建設
代表取締役



心機一転、又よろしくお願い致します。



ただむら よし ふみ
多田村 佳史
(宇都宮R.C.)

日本生命保険相互会社
宇都宮支社支社長



しまだ よし ひこ
島田 義彦
(宇都宮西R.C.)

株東武宇都宮百貨店
取締役総務部長兼経理担当



なか の たつ お
中野 達生
(真岡R.C.)

(有)中野酒店



義理人情に厚くをモットーにガンバります。



ほり こし とし お
堀越 俊雄
(真岡R.C.)

株栃木銀行真岡支店



はじめまして、よろしくお願ひ致します。



ほり うち かず ひろ
堀内 一浩
(真岡R.C.)

株ホリウチ石材
代表取締役社長



新人で教えて戴く事が多いと思いますが、よろしくお願ひ致します。



わだ かず み
和田 和己
(鹿沼R.C.)

日光ふる里たまり漬株
取締役営業本部長



お ぎ き ひろ あき
尾崎 弘明
(小山南R.C.)

北関東フジクリーン管理株



はら かわ よし ふみ
原川 善吏
(宇都宮R.C.)

NHK宇都宮放送局
局長



まつ だ つね み
松田 常美
(宇都宮陽北R.C.)

アルファクラブ株
取締役副社長



事業所は同じアルファクラブ株式会社
社高橋一寿会員転勤の為交代です。



はぎ わら よし ふみ
萩原 良章
(宇都宮陽北R.C.)

シーデーピージャパン株



みや はら やす ゆき
宮原 保之
(大田原R.C.)

大田原赤十字病院
院長

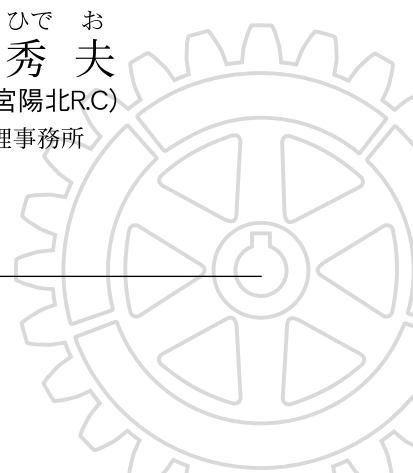


伝統ある大田原R.C.のメンバーとして、誇りを持って社会に奉仕します。



かど くら ひで お
門倉 秀夫
(宇都宮陽北R.C.)

門倉労務管理事務所
所長



2006～2007年度 地区主要行事予定

2006年

地区外行事

月	日	曜日	行 事	場 所	
10	5日	木	地区親善野球大会前々夜祭	宇都宮	宇都宮グランドホテル
	7日	土	矢板ロータリークラブ40周年記念式典	矢 板	矢板イースタンホテル
	〃	〃	地区親善野球大会	宇都宮	県総合グランド
	8-9日	日-月	学友会総会	黒 羽	花 月
11	3-5日	金-日	ライラセミナー	鹿 沼	ウェルサンピア栃木
	11日	土	文星女子高校IAC認証状伝達式	宇都宮	
	23日	木	ロータリー財団地域セミナー	岡 山	岡山コンベンションセンター
	24日	金	地区研修リーダーセミナー	岡 山	岡山コンベンションセンター
	25-26日	土-日	ロータリーゾーン研究会	岡 山	岡山コンベンションセンター
12	9日	土	第3回 諮問委員会	栃 木	サンルートプラザ栃木

第24回全国ロータリークラブ野球大会
鹿沼ロータリークラブ野球部 優 勝

(於：阪神甲子園球場)

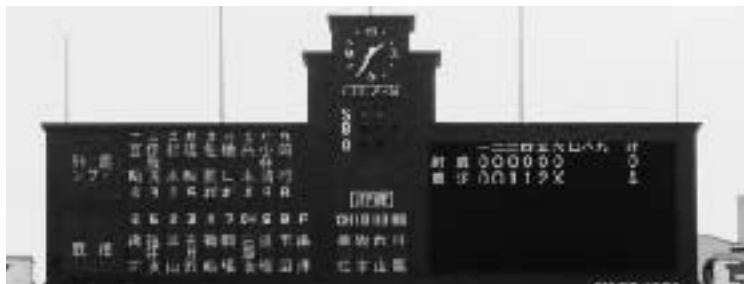
今年5月6日より開催された第24回全国ロータリークラブ野球大会にて、R I第2550地区代表として参加させて頂きました我が鹿沼RCが、念願の初優勝をおさめ、紫紺の大優勝旗と優勝杯を手にすることが出来ました。

「野球を通じて親睦の輪を広めよう」をテーマとした本大会は、全国より予選を勝ち抜かれた強豪44チームが阪神甲子園球場に集い開催されました。我が鹿沼クラブは、雨天のため2回の試合延期（5月7日中止・7月2日中止）にもかかわらず、チームワークで7月15日：初戦（対豊田RC）を飾り、9月16日：2回戦強豪高知中央RCを2対0で破り、3回戦（対高岡万葉RC・富山）、9月17日：準決勝（対久留米北RC）と勝ち進み、決勝は三重県の鈴鹿シティーRCと対戦、「元本田技研のエース」投手を相手に、手堅い攻撃と確実な守備で4対0と、完封でおさえ、見事初優勝。この大会の優勝は、東日本では東京秋川RCと東京調布RCの2クラブのみで、今回初めて利根川を渡り、北関東の当地区に優勝旗を持ち帰る事が出来ました。

創部以来、全国制覇を目標に、毎週木曜の例会後、暑い夏も寒い冬も欠かさず行った練習、部員全員が一丸となって試合に臨むチームワーク作り、クラブ会員をはじめ暖かい応援をして下さった大勢の人等など、思い返せば感慨無量です。そして何よりも、全国のロータリアンとグラウンドで交わした固い握手が心にしみるもので、結果以上のものがあると思っております。

今後、全国の多くのロータリアンとの素晴らしい出会いに恥じないプレーが出来る様、「より厳しく！より楽しく！」例会後の練習を積み重ねて参りたいと思っております。

ありがとうございました！





「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

「記念講演から」

◎「人生を考える」

稲盛 和夫 2005 23p (「奉仕の心」)

◎「道草をくいながら」

岸田今日子 2006 5p (D.2790 地区大会)

◎「高く遠い夢～70歳、エベレスト登頂～」

三浦雄一郎 2005 9p (D.2540 地区大会)

◎「私が出会った挑戦者たち」

国井雅比古 2005 14p (D.2550 地区大会)

◎「斬り口の向こうに未来が見える」

猪瀬 直樹 2005 14p (D.2670 地区大会)

◎「どうせやるなら精一杯、喜んで」

木村 進次 2006 14p (D.2540 地区大会)

◎「最新の国際情勢について」

古森 義久 2005 9p (D.2660 地区大会)

◎「みんなの幸せのために」

江原 啓之 2005 9p (D.2660 地区大会)

◎「脳は若返るか」

養老 孟司 2005 8p (D.2660 地区大会)

◎「バカの壁」

養老 孟司 2006 9p (D.2510 地区大会)

[上記申込先：ロータリー文庫(コピー/PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F

TEL (03)3433-6456 FAX (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

ロータリーの友からのお知らせとお願い

ロータリーの友地区委員 塚田 宏 司 (栃木西RC)

ロータリーの友9月号縦組みの(P18)と(P27)に当地区の記事が掲載されています。会員の方に紹介していただくと共に更に色々な話題の投稿をお願いします。

ロータリーの友誌の購入会員数より少し多めに取っていただき、広報等に利用して頂ければとのお願いが、本部よりありました。

国際ロータリー第2550地区8月会員増強・出席報告

分区	クラブ名	出席率			会 員 数							
		例会数	今月	平均	7月1日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性会員
第一グループ	大田原	4	88.70	89.00	47	47	2	2	2	2	0	1
	黒磯	4	99.50	99.75	44	46	2	0	2	0	2	2
	西那須野	4	95.00	96.25	49	51	0	0	2	0	2	0
	黒羽	4	93.18	94.89	22	22	0	0	0	0	0	0
	那須	4	87.50	87.41	24	26	0	0	2	0	2	2
	塩原	4	76.90	77.74	13	12	0	1	0	1	-1	0
	大田原中央	4	80.90	69.65	21	21	0	0	0	0	0	0
第二グループ	烏山	4	91.17	91.18	17	17	0	0	0	0	0	1
	氏家	4	85.16	87.51	36	36	0	0	0	0	0	0
	矢板	4	88.90	90.12	38	38	0	0	0	0	0	6
	馬頭小川	4	91.30	88.03	23	23	0	0	0	0	0	0
	高根沢	3	78.40	84.05	17	17	0	0	0	0	0	1
第三グループA	宇都宮	4	72.90	74.00	101	105	4	1	5	1	4	0
	宇都宮西	5	92.10	91.40	60	61	1	0	2	1	1	0
	宇都宮北	5	70.47	75.39	57	57	0	0	0	0	0	0
	宇都宮90	3	86.40	88.95	44	44	1	0	1	1	0	5
	宇都宮陽北	4	91.60	82.95	35	35	0	0	0	0	0	6
第三グループB	宇都宮東	4	92.73	92.73	104	105	1	0	1	0	1	0
	宇都宮南	5	84.65	79.83	49	49	0	0	0	0	0	0
	宇都宮陽東	4	90.69	85.42	41	42	1	0	1	0	1	1
	宇都宮陽南	4	94.40	93.25	19	19	0	0	0	0	0	4
第四グループ	真岡	4	78.57	86.71	40	40	0	1	1	1	0	0
	益子	4	91.80	93.20	44	44	0	0	0	0	0	0
	真岡西	3	92.59	93.80	45	46	0	0	1	0	1	8
	しもつけ	4	88.78	88.79	29	29	0	0	0	0	0	7
第五グループ	小山	4	89.70	90.35	47	49	2	0	2	0	2	0
	小山南	4	95.20	96.98	20	21	1	0	1	0	1	1
	小山東	4	92.86	93.16	42	42	0	0	0	0	0	0
	小山北	3	77.38	78.57	29	29	0	0	0	0	0	0
	小山中央	3	78.00	76.00	27	27	0	0	0	0	0	1
第六グループ	栃木	4	68.20	73.85	55	55	1	1	1	1	0	0
	栃木西	4	82.74	81.76	43	44	1	0	1	0	1	2
	壬生	4	90.00	91.00	19	20	0	0	1	0	1	2
	栃木南	4	87.20	86.80	36	36	0	0	0	0	0	4
第七グループ	日光	5	84.76	84.99	31	31	0	0	0	0	0	3
	鹿沼	5	85.13	88.28	70	72	1	0	2	0	2	1
	今市	4	90.76	90.76	46	46	0	0	0	0	0	0
	鹿沼東	4	91.46	92.07	47	47	0	0	0	0	0	2
	粟野西方	4	100.00	98.53	17	17	0	0	0	0	0	1
	鹿沼中央	4	79.74	81.12	31	31	0	0	0	0	0	1
第八グループ	今市きぬ	4	95.00	94.59	30	30	0	0	0	0	0	1
	足利	3	87.46	86.08	49	49	0	0	0	0	0	0
	足利東	4	91.49	86.73	61	62	0	0	1	0	1	7
	足利西	5	77.32	77.83	15	15	0	0	0	0	0	0
第九グループ	足利わたらせ	5	91.85	95.93	26	26	0	0	0	0	0	0
	佐野	3	90.33	93.37	59	59	0	1	1	1	0	0
	葛生	4	85.10	90.50	36	37	0	0	1	0	1	0
	田沼	4	95.24	94.05	40	42	2	0	2	0	2	0
	佐野東	4	90.63	86.98	23	24	0	0	1	0	1	0
岩舟	4	83.33	81.24	30	30	0	0	0	0	0	1	
50RC			87.30	87.47	1948	1973	20	7	34	9	25	71

お知らせ

◎クラブ名変更

石橋RC→しもつけRC(8月16日承認され名称変更となりました)

◎11月5日(日) 14:00~16:30 「クラブ活性研修会」(場所:宇都宮文星女子高校)を開催いたします。

クラブ次期会長、現ガバナー補佐、次期ガバナー補佐の出席をお願いします。詳細は後日ご案内いたします。